

緑内障への啓発を



岩村 みゆき 議員
IWAMURA Miyuki

あまりにも方針決定に時間がかかりすぎているのではないか。結局、何も決まっていない。

Q 中途失明原因第1位の緑内障は、適切な治療によって進行を抑えることが期待できる。早期発見のため、定期的に町で検査を受けることは出来るのか。

A 保健センターで実施している団体健康診査で40歳以上の方には眼圧検査と眼底検査を年1回実施している。

Q 6月の本会議で、町長は8月にタウンミーティングを開催されると発言されたが、今まで開催されていない。本会議での町長の発言の信頼性が損なわれるものである。どんな思いで発言をされたのか。

A 令和8年度からスカイプールを開きたいという強い思いを持つて答弁した。しかし、十分な準備や調整を重ねる前に発言した面があり、慎重さを欠いていたと深く反省している。発言内容には責任を持たなければならぬと肝に銘じている。

Q タウンミーティングの開催への進捗状況はどうか。

A 現在、課題解決に向けた検討を進めている。方針が明確になつた段階でタウンミーティングを開催していく。



Q 何かの機会に緑内障への注意喚起、チラシを配布してはどうか。また、セルフチェックを啓発してはどうか。

A 今後は、広報誌や検診案内、啓発チラシなどで情報発信に努める。また、セルフチェックの方法や眼科検診の重要性について、目の愛護データや健康福祉フェスティバルなどに啓発を行いたい。

タウンミーティングの開催は

スカイプールの開催手法は



熊沢 直紀 議員
KUMAZAWA Naoki

スカイプール再開に向けての諸問題が停滞している。どの時点で決定して行くのか。

定であった。再開に向けては、多くの課題があり、議会からも指摘や意見を受けていることから、令和8年度の再開は困難であると考える。今後は再開に向けた方針を明確にして、タウンミーティングを開催したい。現時点において「指定管理者の募集・選定」や「利用料の条例改正」「必要な改修費の予算化」の時期を具体的に示すのは困難であるが、適切な時期に必要な手続きを行っていきたい。



スカイプールの開催手法は

Q スカイプールについては、令和8年度の再開に向けてタウンミーティングを開催し、町民の意見を伺う予

A スカイプールについては、令和8年度の再開に向けてタウンミーティングを開催し、町民の意見を伺う予